

8 . 麻生区構想素案に対する御意見と市の考え方

対象項目	整理NO	P	内容	市の考え方
都市構造	801	17	全体的に具体性に欠けると思われる。 例えば、岡上地区の多摩丘陵の一角である里地里山は市街化調整区域等です。都市構造の4で、この市街化調整区域等の土地利用のルールづくりを検討し、農地や緑地の保全や集落環境の維持改善等に努めます。と素案に明記できないのは何故でしょう。20年先が見えません。	麻生区構想素案P17 4 持続可能な里地里山環境の保全と地域の活性化に向けた土地利用の整序をめざします P34 7(4)里地里山景観と調和した土地利用の整序と地域の活性化 の項などにおいて御意見の趣旨を記述しておりますが、新たな土地利用規制については住民の発意による主体的なまちづくり活動が不可欠となることから、「住民の発意による主体的なまちづくり活動を支援し、農地や緑地の保全や集落環境の維持改善等に向けたきめ細かな土地利用のルールづくりを検討します」等の記述としております。素案のままの記述とさせていただきます。
	802	19	都市構造の5 安全でスムーズな移動を考えた交通ネットワークづくりについて記述しているが、県道真光寺長津田線の岡上交番から和光大学前の少し先までは麻生11号線になっており、現在地域住民は重要な生活道路として利用しております。この麻生11号線は都市計画道路ですが、和光大学の先で行き止まりになっており、この接続が横浜市になるのかどうか、どの方針図の素案を見ても明確でないのは何故でしょうか。都市構造からも、都市防災でも行き止まりは大変心配です。方針は素案の中で明確にしたいと思います。	川崎市の都市計画マスタープランにおきましては、市域のみ図示しておりますが、御意見で挙げられている柿生町田線につきましては、横浜市域におきましても都市計画決定されており、行き止まりの道路計画ではございません。御意見の趣旨につきましては参考とさせていただきます。
	803		緑の回廊をめざすと記述されているが、その途中にマンションができる話があった場合は、行政内の都市計画部門と建築部門で対立するののか。	都市計画マスタープランは、都市計画の基本方針であり、また土地利用の誘導指針としての活用を考えており、直接具体的な建築を規制するものではありません。別途、各種法令手続きに従って建築確認等がなされることとなります。
土地利用	804	28	麻生区構想区民提案では、 P127 2)まちづくり方針 A.生活圏を単位とした施設整備(ハード面の対応)の項において、コミュニティ施設や社会福祉施設等への転用促進(行政の各セクションにおける横の連携が不可欠) C.コミュニティ施設の柔軟な利用を可能とする仕組みづくり(ソフト面の対応)の項において、行政の各セクションにおける横の連携強化の記述があったが、素案では、 4(1)生活圏を単位としたコミュニティ形成による住宅地の適切な土地利用と施設配置の項において、学校などの既存施設の有効利用を図るとの記載のみで、その前提条件として行政の機構改革、意識改革なしには不可能な提案にも関わらず削除されている。	都市計画マスタープランにつきましては、行政の機構改革や意識改革等の方針を示すものではありませんので、今後の取組の参考とさせていただきます。

土地 利用	805	28	<p>麻生区構想区民提案では、 P136 2)まちづくり方針 の項において、 住宅市街地内に通過交通を流入させない方策の 検討、 狭隘道路の拡幅整備の推進、 コミュニティ 道路の整備、 歩行者の安全を獲得できる道路網の 整備、 歩道のバリアフリー化整備など、コミュニティ ゾーン内の交通処理の考え方の提示、コミュニティ道 路の整備イメージ(複数の具体策の提示)が示されて いたが、素案では 2 安全性と快適性を兼ね備えた生活道路の整備を めざします の項において、住宅地における安全で快 適な生活道路の改善・地区内の生活道路の安全性を 向上させるため、地区の実情に応じた交通安全施設 の設置や道路構造の工夫による安全対策に努めま す。という記述になっている。 区民提案における、地域交通の視点からというサブ タイトルはイコール生活者の視点からということに尽き る。基本計画という机上の文言に置き換えることのよう に無味乾燥になってしまうという典型を見た思いがす る。委員として討議した中で市民自治を具現化するベ ストアイデアと密かに確信するほどに楽しいアイデア の数々ただただに、ただただ残念という他にない。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、麻生区構想素案P28 4(2)住宅地における安全で快適な生活道路の改善 及び P43 2 安全性と快適性を兼ね備えた生活道 路の整備をめざします の項において、基本的考え 方として反映されていると考えております。都市計画 の基本方針である都市計画マスタープランにおきま しては、個別具体の事業や計画を列記していくことは できませんが、区民提案で示された個別のアイデアに つきましては、具体的取組を進めていく上で参考とさ せていただきます。</p>
	806	29	<p>麻生区構想区民提案では、 P131 B.バリアフリーのまちづくり の項におい て、 分け隔てなく一定水準の市民生活を送ることの 出来る社会づくり(ユニバーサルデザインの導入) と 記述していたが、 素案では、 P29 5(2)バリアフリーのまちづくり の項において、 ユニバーサルデザインは記載されず、20年後のまち づくりをデザインするときこそ、全てに先立ちユニバ ーサルデザインの基本理念が導入されて然るべきかと思 う。</p>	<p>麻生区構想素案P29 5(2)バリアフリーのまちづくり、 P45 3(4)バリアフリーの推進 の項において、鉄道 駅施設やバス等の交通施設のバリアフリーに対応し た施設改善、地域の実情に応じた歩道や生活道路の バリアフリーに配慮した整備等について記述しており ます。ユニバーサルデザインの考え方につきましては は、平成18年6月にバリアフリー新法(高齢者、障害 者等の移動等の円滑化の促進に関する法律)が成立 するなど、国においても「どこでも、だれでも、自由に、 使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方に 基づき、各種の取組まれているところであり、本市でも これらの動向を踏まえ、現在進めているバリアフリー 対策なども着実に推進し、ユニバーサルデザインの 考え方を生かしたまちづくりを進めてまいりたいと思 っておりますので、御意見の趣旨につきましては、今後 の取組を進めていく上での参考とさせていただきます。</p>

<p>土地利用</p>	<p>807</p>	<p>(1)若年層の定住化を支援する内容を入れる。幼保園(幼稚園、保育園)、学童保育所の面積や、密度の確保などを都市の機能として備える旨を記載してほしい。</p> <p>(2)具体的には、共稼ぎやシングルマザー支援のために、通勤時間が短くなるように、新百合ヶ丘にオフィスセンターを設ける旨を記載してほしい。</p> <p>南武線沿線は富士通、NEC、日立、東芝などIT産業の事業所がならんでいる。同様に横浜線沿線にもNECはじめ、多数のIT産業の事業所がある。IT産業は一見パソコンに向かって仕事をしているようであるが、相手と面と向かい合って会話することが非常に重要である。仕様を決めるとき、アイデアを出し合うとき、出来上がったものを吟味するとき、或いはクレーム対策を解決するときなどには会議の場お互いに刺激を受けながら、或いは妥協しながら仕事を進めることが、よりよい業務手法となる。</p> <p>新百合ヶ丘は、南武線と横浜線の間地点にあって、しかも都心へも直行できるのでIT産業のオフィス立地位置としては優れたものを持っています。此処に職場が確保できるならば、小田急沿線やJR沿線の高度の知能を持つ生産年齢人口を麻生区に集中、定住化できる。かつては臨海部の重化学工業が、近年は中原区、高津区など中部のハイテク産業が川崎市を支えたように、今後の若年層が職場と住居を求めて麻生区に住めば、新百合ヶ丘が川崎市を支える拠点となることでしょう。</p> <p>従って、新百合ヶ丘にオフィスセンターを設ける旨を記載してほしい。多摩区では、登戸のオフィス街化の計画はないようなので、是非麻生区新百合ヶ丘にほしい。栗平のマイコンシティはIT産業従事者にとっては交通不便に感じられるのでIT企業は立地しにくい。</p>	<p>子育て関係につきましては、麻生区構想素案P28 4(1)生活圏を単位とした良好なコミュニティ形成による住宅地の適切な土地利用と施設配置 の項において一部記述しておりますが、都市計画マスタープランでは施設の面積規定等に関連する事柄を記述しておりません。また、若年層の定住化という概念につきましては、同素案P29 5(1)の項の多様な世代という表現の中に含まれているものと考えております。御意見の趣旨につきましては、参考とさせていただきます。</p> <p>新百合ヶ丘にオフィスセンターを設ける旨につきましては、麻生区構想素案P24 2(1) 新百合ヶ丘の‘職’ の項において、基本的考え方に盛り込まれていると考えております。</p>
	<p>808</p>	<p>・景観・集落の環境にふさわしくない土地利用の改善を</p> <p>新百合ヶ丘駅周辺の再開発にともない、景観や機能が整ってきているのに対し、一方では、従前の建築資材置場(事業所)や騒音を発する建築廃材(土・コンクリート等)の処理施設(事業所)が残存するなど、区の中央駅周辺の環境・景観として適当でない状況が見受けられ、移転に関わる行政指導等の必要性を痛感している(麻生警察署界限)。これは一例だが、この視点での区内通覧と対処が必要ではないだろうか。</p>	<p>市街化調整区域の土地利用につきましては、麻生区構想素案P34 7(4)里地里山景観と調和した土地利用の整序と地域の活性化 の項において、基本的考え方を記述しておりますが、御意見を参考に、具体的な取組に生かしてまいります。</p>
	<p>809</p>	<p>私は幼児を育てやすいまちづくりが、高齢者にとっても住みやすい街になると思います。私の希望は、世田谷町田線から黒川方面に、栗平が良いと思います。上越市にあるような三世代交流プラザを創ってほしいと思います。横浜市ですと、地区センターですね。青葉区だけでも6ヶ所もあります。この地域は人口増であり、施設がありません。ぜひお願いしたいと思います。</p>	<p>栗平において三世代交流プラザをつくる計画はございませんが、子供から高齢者まで、多世代の交流により地域コミュニティを育むことは少子高齢社会の重要な課題であり、麻生区構想素案P28 4(1)生活圏を単位とした良好なコミュニティ形成による住宅地の適切な土地利用と施設配置 の項において、コミュニティの再生・活性化をめざす住民主体のまちづくり活動支援や、学校など既存施設の有効利用に関する基本的考え方として盛り込まれていると考えております。</p>

	810	若年層(子育て世帯)支援を記述してほしい。	子育て関係につきましては、麻生区構想素案P28 4 (1)生活圏を単位とした良好なコミュニティ形成による住宅地の適切な土地利用と施設配置、P29 5(1)多様な世代が住み続けられる住宅地 の項において、基本的な考え方を記述しております。都市計画マスタープランとして具体的な支援策まで記述はいたしません。御意見の趣旨については今後のことも関連施策の参考とさせていただきます。
土地利用	811	新百合ヶ丘への職の誘致について、記述を強調すべき。	麻生区構想素案P23 2 広域拠点としての新百合ヶ丘駅周辺地区を育みます の項において示すとおり、新百合ヶ丘駅周辺地区おきましては、商業・業務などの都市機能、音楽・映画等の大学、専門学校やアートセンターなどの文化資源、良好な自然環境、住環境などの地域の資源を活かし、「職」「遊」「住」の機能がバランス良く融合した拠点づくりが必要であると考えております。都市計画マスタープランとしての記述につきましては、素案のとおりとさせていただきます。
	812	柿生駅周辺の民有地にバス発着場をつくるという話はあるのか。	柿生駅周辺のまちづくりにおいて、暫定バス広場の整備を行ってまいります。
土地利用・交通体系・その他	813	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道路計画等50年前の都市計画決定の見直しを含めて今後考えられないか。 2. 麻生区としての重点、特色をもっと表現できないか。調整区域や農地の問題等に対して。 3. 都市計画マスタープランとして自主性を強調すべきではないか。他部門との調整で、中身がぼけてきている。 4. すべてだめではなく今後20年間に渡る年次的な目標として考えていけないか。 5. 区民提案と区別構想の対比を正式な文章化したものとして公表してほしい。 6. 区民提案から区別構想に至る各部局との「やりとり」を明らかにすべきでは。どこで、どの理由で変わったかを知りたい。今後の区民の取り組みの方向の参考にしたい。 7. 区別構想の中で全般的に今後の取り組みに対する姿勢が感じられない。表現として「見直すとか目指します」ではなく「改善します、推進します」という形にならないのか。 	<p>1 都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。</p> <p>2～4 都市計画マスタープランにつきましては、5つの分野別方針からなる総合的な計画となっております。また、都市計画マスタープランは都市計画の基本方針を示すものであり、具体の事業の優先順位や年次目標を定めるものではありません。御意見として参考とさせていただきます。</p> <p>5～6 御意見の趣旨を踏まえ、案の縦覧に際して、区民提案書、区民提案と都市計画マスタープラン案との対応表をあわせて縦覧してまいります。調整理由の基本的な考え方をその中で示しておりますので御参照ください。</p> <p>7 文章表現につきましては、策定の趣旨等素案P8 (3)文章表現について の項において、実施主体や計画熟度に従って整理しております。</p>
交通体系	814	44 地下鉄延伸希望します。(新百合ヶ丘 - あざみ野)	横浜市営地下鉄3号線の整備につきましては、麻生区構想素案P44 3(2)広域的な交流・連携を支える鉄道ネットワークの整備 の項において、基本的考え方を記述しておりますが、御意見の趣旨につきましては、具体的な施策への御期待と考え、今後の取組にいかしてまいります。

	815	<p>・新百合ヶ丘～あざみ野間の鉄道設置による横浜市営地下鉄との連結の実現を 高額予算を要し、川崎・横浜両市の合意形成が前提となる困難な条件克服が不可欠であるが、実現の暁には、川崎市北部を中心とする住民にとって、県都横浜が心理的にも、時間的にも身近になり、従来の利便性も極めて高まり、麻生区内の産業や区民の生活にも有意な影響が期待される。</p>	<p>横浜市営地下鉄3号線の整備につきましては、麻生区構想素案P44 3(2)広域的な交流・連携を支える鉄道ネットワークの整備の項において、基本的考え方を記述しておりますが、御意見の趣旨につきましては、具体的な施策への御期待と考え、今後の取組にいかしてまいります。</p>
交通体系	816	<p>44 交通体系について P44 3(2)広域的な交流・連携を支える鉄道ネットワークの整備の項において、小田急小田原線の複々線化、川崎縦貫高速鉄道線の整備に向けた取り組み、横浜市営地下鉄3号線の延伸、の3点が並列記述されているが、その優先順位については如何考えられているのか。 区民提案では、P78 第 章 まちづくり方針 1-1. 交通ネットワーク 公共交通体系づくりの方針には、 〔整備が望まれる路線〕として、麻生区民としての優先順位が1～3まで明記されている。敢えて優先順位を示した区民の意思を尊重して構想案を策定すべきと考える。 特に注目すべきは、「横浜市営地下鉄3号線延伸（新百合ヶ丘駅乗り入れ）」の優先順位が、かねてより市民の間でその計画に異議を呈されている「川崎縦貫高速鉄道」計画よりも高いことである。平成15年度に市が実施した所謂「市民1万人アンケート」調査結果にも同様な区民意識が窺われる。 川崎縦貫高速鉄道計画はこの4月に既存計画が見直しの上、取り下げられ目下新計画で国への再申請が図られんとしている段階だが、未だ一般市民、麻生区民には新計画の詳細は示されて居らず、それに対する市民意思、議会意思を諮る手続きも取られていない。 従い、麻生区構想素案（並びに全体構想素案）での縦貫高速鉄道に関する記述は単なる市の意向に過ぎないものの、少なくとも麻生区においては区民の意思はむしろ横浜市営地下鉄延伸整備にあることを改めて確認し、麻生区構想は「区民提案」に沿った優先意思を盛り込んだ記述とすべきである。 万一市が策定する構想に「区民提案」との乖離があるのであれば当然にその理由を広く区民に対して説明する責任がある。</p>	<p>鉄道網の整備につきましては、市の「総合計画（川崎再生フロンティアプラン）」と整合を図り記述しております。御意見の趣旨につきましては参考とさせていただきます。なお、また、都市計画マスタープランは都市計画の基本方針を示すものであり、具体的な事業の優先順位を定めるものではありません。</p>
交通体系	817	<p>44 3(2)鉄道ネットワークの整備 ・川崎縦貫高速鉄道線 駅の設置場所案を見ると、区として充分検討されたとは思えない。新百合ヶ丘駅を出発すると次は長沢駅となっている。麻生区の住民は新百合ヶ丘まで行かないと利用できない人がほとんどで、狭い新百合ヶ丘駅周辺が混乱し、混雑の分散にならない。 麻生区内にもう一つ駅を設置して、区民のアクセスの利便と新百合ヶ丘混雑緩和を図るべきである。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
	818	<p>・川崎縦貫高速鉄道線開通の早期実現を 高額予算を必要とし年期的にかかることではあるが、区民の要望に強いものがある。実現後には多面的利点があるが、区民の利便性だけでなく、新百合ヶ丘駅周辺施設への集客の増大による産業の活性化が期待され、また聖マリアンナ医大への通院客を鉄道輸送できることになり、駅周辺のバス等の混雑緩和にも寄与すると考えられる。</p>	<p>川崎縦貫高速鉄道線の整備につきましては、市の「総合計画（川崎再生フロンティアプラン）」と整合を図り記述しておりますが、施策に対する御意見として、今後の取組にいかしてまいります。</p>

	819	45	<p>3(5) 駐車・駐輪対策</p> <p>効率的に自転車を利用できる仕組み検討では、川崎市全域に効率的な利用を可能にするために、川崎縦貫高速鉄道線に、自転車通勤車両を導入して欲しい。エコ問題、健康問題、駐輪問題に役立ち、日本で先鞭をつけ、川崎の鉄道の目玉になると思われる。新線ゆえに可能なことです。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、川崎縦貫高速鉄道線整備に関する具体の御提案として、整備に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
交通体系	820		<p>川崎市都市計画マスタープラン麻生区構想素案を拝見し、方向性は豊かな安心できるまちに、20年から30年先は、経済的にも希望がもてると感じられる。</p> <p>都市計画が決定されて何十年もそのままではと心配になる。39%の進捗では1年1%麻生区として400m - 500mの完成に当たる資金がないのが、きちりと事業決定の認可をとってやっていただきたい。遅れている事情は地主との関係などあるが、費用をかけてほしい。</p>	<p>都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度に「道路整備計画」の策定作業を行っており、今後10年間にわたる事業は、その中で明らかにしてまいります。御意見の趣旨につきましては、上記の検討、また、今後具体的に整備を進めていく上で参考とさせていただきます。</p>
	821		<p>尻手黒川線は随分昔から計画があるが、ヨネッティ以北が1車線となっており、整備が遅れている。都市計画道路については、市が主体となって計画、及び実施するものであり、市民への説明責任、地権者への説得責任を果たすべき。</p>	<p>都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。御意見で挙げられた尻手黒川線については、都市計画マスタープラン素案では、「主な幹線道路」として図示しております。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度に「道路整備計画」の策定作業を行っており、今後10年間にわたる事業は、その中で明らかにしてまいります。</p>
	822		<p>岡上西地区では、傾斜地に柿生町田線の計画があるが、現在は行き止まりとなっており、火災などの災害時には大きな被害が出ると思われる。周辺では、緑の保全ばかりをかけているが、保全地の中で都市計画道路をつくることのできるのか。現在、都市計画道路の見直しをやっているということだが、もっと地元の見解を入れてほしい。</p>	<p>基本的な考え方として、特別緑地保全地区と都市計画道路を区域重複して都市計画決定することはありません。</p> <p>都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度に「道路整備計画」の策定作業を行っており、今後10年間にわたる事業は、その中で明らかにしてまいります。上記の検討に際しては、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、策定してまいります。なお、具体の整備手法につきましては、事業実施の段階で検討してまいります。</p>

	823	現時点の事業着工と見直しと未着工の理由、区民の協力できることは何かを提示していただきたい。野川柿生線、柿生町田線、早野菅線を事業決定し推進していただきたい。資金がなければ市債の発行を。	都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度に「道路整備計画」の策定作業を行っており、今後10年間に於ける事業は、その中で明らかにしてまいります。御意見の趣旨につきましては、上記の検討、また、今後具体的に整備を進めていく上で参考とさせていただきます。
交通体系	824	工事に時間と金がかかるのなら、安全な交差点の整備を1日も早く、整備されることを希望する。このことが、マスタープランへの強い応援となると信じています。 柿生駅前入口、上麻生交差点、下麻生交差点	都市計画の基本方針である都市計画マスタープランにおいては、個別具体の事業計画を記述できませんが、麻生区構想素案P42 1(3)交通ボトルネックの解消の項において、交差点改良に関する基本的考え方を記述しております。具体の御提案につきましては、今後の整備を進める上で参考とさせていただきます。
	825	道路整備について 都市計画道路内にある道路で片側を水路が走っている。この道路は幅員が4～6mで曲がりくねっており事故の危険性を内包していると言われるようなところである。このような状態は過去約40年も続きこれから先行政による整備改善の展望が示されてこない。都市計画プランと並行して優先的に取り上げて安心安全な町づくりを推進されることを願っております。詳細はいかに記す。 1. 整備内容: 道路と並行している水路に蓋をする。そして歩道を確保すること。 2. 場所: 岡上525番地先(通称・川井田橋 - 岡上西町会二番坂) 3. 参考: この場所は上流から約100mの区間は昭和57年度にボックスカルバート工法で蓋をした。	都市計画の基本方針である都市計画マスタープランにおいては、具体の整備方法等を記述することはできませんが、具体の御提案につきましては、今後の整備を進める上で参考とさせていただきます。
	826	麻生区では都市計画道路の整備が他区に比べて遅れており、具体的に今やらなければならないことをやるべき。	都市計画道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度中に「道路整備計画」が策定される予定ですので、今後10年間に於ける事業は、その中で明らかにしてまいります。都市計画マスタープランは、都市計画の基本方針であることから、個別具体の事業手法について記述することはできませんが、御意見の趣旨につきましては、上記の検討、また、今後具体的に整備を進めていく上で参考とさせていただきます。
	827	交差点の安全確保など、柿生駅前の整備を速やかにやってほしい。	柿生駅前の整備につきましては、麻生区構想素案P27 3(2)柿生駅周辺地区の項において、交通広場の改善などの基本的考え方を記述しております。御意見の趣旨につきましては、施策に対する御意見と考へ、今後の取組にいかしてまいります。

	828	野川柿生線、上麻生横浜線、早野管線の交差する所、現在は三方交差になっている。交差点より、東柿生小学校方面へ、交差点の横断白線より、北へ37mの所に車の停止の白線があります。ここより、東柿生農場前へと車が止まり信号の変わるのをすれ違い反対方向を車の進行を見ながら停車している。この現場を何故こうしておかれるか、お尋ねしたい。	都市計画の基本方針である都市計画マスタープランにおいては、個別具体の事業計画を記述できませんが、麻生区構想素案P42 1(3)交通ボトルネックの解消の項において、交差点改良に関する基本的考え方を記述しております。具体の御提案につきましては、今後の整備を進める上で参考とさせていただきます。
	829	交通体系も大型ばかりに目を向けなくて、麻生区の特徴である高低差を考えて、屋外「エスカレーター」や「動く歩道」の開発(コイン投入の有料でもよいかも)、特色ある老人いきいの家を整備し、その間を「シャトルバス」で結ぶ構想を進めてはいかがでしょう。	都市計画の基本方針である都市計画マスタープランにおいては、個別具体の事業計画を記述できませんが、麻生区構想素案P45 3(3)バス利用の利便性の向上の項において、基本的考え方を記述しております。その他の具体の御提案につきましては、御意見として参考にさせていただきます。
交通体系 (尻手黒川線整備への要望)	830	<p>マンション住民は入居時に尻手黒川線産業道路建設を理解した上で住まい始めています。従いまして、尻手黒川線産業道路の建設自体への全面反対というような無理難題で勝手な要望は毛頭ございませぬ。</p> <p>ただ、私達は川崎市の道路開発を単なる経済活性化の道具と考えているならば、このことは問題があると感じています。根本的な理念を今までの「経済/開発優先」から「自然/人間優先」に変えていかなければならないと思います。自然が豊かでゆっくりと穏やかな時間が流れていたところに騒音や振動、汚れた空気が流れ込んでくると、近隣住民は困惑してしまいます。これからは、大切な自然が後世まで財産として残るような都市計画/開発が実施されなければならないと思います。</p> <p>これらを土台に今、地域に住む住民、一人ひとりが元気になるようなまちづくりが求められています。地域からのまちづくりはとても大切で、そこに住んでいる人たちの生活空間づくり、緑化保全、防災などへの積極的な参加で町は変わっていきます。もちろん道路においても物理的機能に加え、住民の感性に訴える価値というものが必要になります。住民の求める環境や地域性とかけ離れた開発は、周辺環境の悪化を招き、その結果、地域全体の価値が下落し、自治体にもその責任や資質が問われます。さらには将来的に負の遺産として私たちの子供達に引き継がれてしまいます。</p> <p>つきましては、尻手黒川線の基本設計、詳細設計さらに今後の工事、施工に関して マンション住民総意として下記のとおり要望いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路はつくらないでほしい(基本的にはマンション住民の都合による無理難題的要望で現実的には不可能との認識) 2. 作るならルートを変更してほしい(上記同様、無理難題的要望で現実的には不可能との認識) 3. ルートが変更できないならトンネル深度を深くしてほしい(トンネル開口部位置の変更、延長:開口部分の位置を図面上で確認できるように要望) 4. 公害対策の要望 <ul style="list-style-type: none"> ・振動対策(振動吸収材料の使用、防振材の使用)、騒音対策(騒音吸収材料の使用、消音材の使用、吸音材の使用)、大気汚染対策(大気汚染物質処理装置の設置、光触媒材料の使用)、地下水汚染対策、土壌汚染対策(防水シート等の使用) 	<p>幹線道路の整備の考え方につきましては、都市計画マスタープランの策定と並行して、平成17年度から「都市計画道路網のあり方」検討を行っております。都市計画道路のあり方や都市計画道路の見直しの基本的考え方について平成18年4月に中間答申を行い、パブリックコメントを実施し、広く皆様の御意見を伺い、見直し対象路線・区間の選定、路線別見直し方針について明らかにしてまいります。御意見で挙げられた尻手黒川線については、都市計画マスタープラン素案では、「主な幹線道路」として図示しております。また、個別路線ごとの整備計画については、平成18年度に「道路整備計画」の策定作業を行っており、今後10年間にわたる事業は、その中で明らかにしてまいります。</p> <p>都市計画マスタープランは、都市計画の基本方針であることから、個別具体の事業手法について記述することはできませんが、御意見の趣旨につきましては、上記の検討、また、今後具体的に整備を進めていく上で参考とさせていただきます。</p>

		<p>5. 地震対策の要望:トンネル内の躯体、骨格(梁)の強化、骨格(梁)などへの補強材使用、その他、免震対策等の最新技術による設計、施工</p> <p>6. 自然環境破壊対策の要望:一度破壊された自然は元には戻らないとの認識から柿生緑地の取り崩しはしないでほしいあるいは極力、避けてほしい トンネル化及びその延長を要望</p> <p>万が一取り崩しの場合、柿生緑地はどの程度破壊されるのかを明確にしてほしい。現在生息している樹木の種類、本数等の現況調査報告の要望。樹木の伐採の程度、本数、面積と環境への影響(環境アセスメント)</p> <p>7. 情報公開等の要望:対応窓口の設置。最新情報の定期的公開の要請。大気汚染の具体的数値の公開。環境破壊の実態調査。自然環境データ収集と整理。温暖化等による世界的な環境保全の動向を確認。事業説明。データ提供。周辺住民へのアンケート実施。</p>	
都市環境	831	<p>緑の保全や公園を考える前に、現状のゴミ集積場所の実態に目をつぶらないで下さい。自分達の出したゴミの処理もきちんとできぬのに、奇麗事の夢ばかり言わないでほしい。宅地販売の時は集積所を義務づけても良いと思います。</p>	<p>都市計画の基本方針である都市計画マスタープランでは、ごみ収集方法について記述していくことはできませんが、ごみ問題については、地域の景観や環境にとって重要な問題であり、市民の皆様の利用マナーの向上に努めていただきたいと思います。御意見の趣旨につきましては参考とさせていただきます。</p>
	832	<p>・里地里山の遊歩道の開発と整備を 近年、リハビリや肥満解消、体力づくりでウォーキングを楽しむ人が増大している。私もその一人で、区内、多摩区、町田市、稲城市、横浜市などの隣接地域の遊歩道を散策することが多いが、同行する仲間と歩きながらよく出る話は、区内の状況は区外に比べ、(1)遊歩道の開発(発掘)が不十分である (2)遊歩道の整備が粗末である (3)関連駐車場が有料で年金生活者にはきびしい などである。そして、「麻生区遊歩道ガイド」の改訂版が区民に紹介され、区民が一層健康づくりに励む一助になればよい。</p>	<p>遊歩道の整備につきましては、具体的取組を進める上で参考とさせていただきます。</p>
	833	<p>黒川の農用地を、面的な緑地として保全してほしい。</p>	<p>麻生区構想素案P50 3 市街化調整区域の里地里山環境を活かしたまちづくり の項において、優良な農地の保全、良好な斜面緑地の保全など、「農」のある風景の保全についての基本的考え方として盛り込まれていると考えておりますが、農用地につきましては、具体の農業施策の中で取り組んでいくものと考えております。</p>

その他	834	<p>全体意見・麻生区の区民提案にはかなりソフト面の提案が盛り込まれています。これからますます“市民自治”、“市民社会”がメインストリウムになるとういうとき、しかも20年後のまちづくりを考えようというときに、私たちは敢えてソフトを重視して討議を重ねてきました。都市計画にソフトは必ずしも馴染むものではないとは自覚してはありましたが、やはり…と偽らざるところでしょうか。地域交通の視点からというサブタイトルは、別の表現をすれば生活者の視点からといっていいでしょう。さまざまなアイデアを検討しているとき、私たちはローカルコミュニティの再生のとおきのノウハウを見出したような気持ちになったものです。注記でもどのような方法でも市民はこんな提案をしていますという記録を工夫していただきたいと思います。</p> <p>上位計画、下位計画があるとするなら、システムはどのように作られるのか、そのフローを明示していただきたいとも思います。つい最近、保健福祉センターの職員から、区民提案の住宅市街地でのアイデアをぜひ実践したいという声を聞いたばかりです。素案を読めば、そんなアイデア、提案もよくわかるように示されている。そんな素案をぜひ作成していただきたいと思います。</p>	<p>都市計画マスタープランは、策定の趣旨等素案P3 2 (1)市が定める都市計画の基本方針 の項において示すとおり、今後、市が定める個別・具体の都市計画の基本方針となり、個別具体の事業内容を列記するものではありませんが、区民提案で示された個別のアイデアについては、法定都市計画以外のいわゆるソフト面の内容も、可能な限り記述できるように調整をし、現在の素案となっております。</p> <p>都市計画マスタープランと他の計画との関係については、策定の趣旨等素案P5 (計画の体系)の中で示されているものと考えております。</p> <p>なお、区民提案につきましては、引き続きホームページ等で閲覧できるような工夫をしてみたいと考えております。</p>
その他	835	<p>何より大切な地域コミュニティづくりが欠落していません。自治会や町内会が加入率60%台です。これで地域の総意はまとまりません。地縁組織を活性化させるのか、別の地域コミュニティを創るのか、20年後を考える時ベースとなる重大なことと思います。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、麻生区構想素案P28 4 (1)生活圏を単位とした良好なコミュニティ形成による住宅地の適切な土地利用と施設配置 の項において、基本的考え方に盛り込まれていると考えておりますが、麻生区のまちづくりの今後の取組を進める上で参考とさせていただきます。</p>
	836	<p>ごく一部の方の考えで区民の意見にしないでください。</p>	<p>広く皆様の御意見を伺い、より良い都市計画マスタープランとするため、策定の趣旨等素案P5 5 策定手続 の項において示すとおり、「つくる参加」としての区民提案の作成、「決める参加」としての素案説明会の開催、ホームページでの公開、区役所や図書館における縦覧、パブリックコメントの実施、案の縦覧等の都市計画決定に準じる手続きを行うものであり、今回の意見書の募集などにつきましても、その一貫で行っております。</p>
	837	<p>市民と行政の協働についての記述はよいが、斜面地でのマンション建設等の問題は企業との間で起こっていることから、企業との協力についても記述すべき。</p>	<p>御意見の趣旨につきましては、市民、事業者、行政の役割分担と協働の考え方として、策定の趣旨等素案P12以降の計画の実現・推進方策の説明において基本的事項を示しております。マンション建設等の問題はさまざまな状況が想定されることから、基本的な考え方を記述するにとどめ、素案のままとさせていただきます。</p>
	838	<p>他の区でも通るような文章で、麻生区らしさが足りないのではないかと。</p>	<p>素案の作成にあたり、各区の区民提案を尊重するとともに、地域の現状・課題を踏まえ、地域の特性をいかした素案を作成してまいりました。都市計画マスタープランは行政計画として必要な事項を記述しているため、素案に示す構成となっております。</p>
	839	<p>区民提案作成の際には、町内会等で出前フォーラムを行い、具体的な要望が記述されていたが、素案では具体的な内容が記述されていない。</p>	<p>都市計画の基本方針である都市計画マスタープランは、具体的な事業計画を列挙するものではありませんが、御意見の趣旨につきましては、具体的取組を進める上で参考とさせていただきます。</p>